

③オランダの切花生産者とエネルギーコスト

オランダのハウスの加温（及び発電）に使われている天然ガス（LNG）の価格は、大雑把な数字で解説しますと、昨年まで 0.25€/m³と非常に安価でしたが、今年に入り 1.35€/m³にまで高騰しました。元々ガスはやや暴落気味だった（オランダ切花生産者のエネルギーコストは安かった）とも考えられます。

オランダの冬のハウスでオリエンタルを1本生産するのにかかる LNG が 1 m³と言われますが、最近の具体的な調べでは 0.65 m³程度という意見もあります（燃料高騰に付き、温度をやや下げていたかもしれません）。

昨年まで 0.25€×1.00 m³=0.25€/本→今年 1.35€×0.65 m³=0.87€/本となり、1-2月の燃料コストは約3.5倍になっていました。

オランダの切花相場は、国際女性デー(3月8日)当りまでの 1.1€から、現在 0.8€(80セント)に値下がりしており、早期の相場回復が期待されています。

ロシアへは高品質百合(高単価)が輸出され、全体の1割程度を占める場合もあったそうで、需要が減った事の相場への影響は大きく、チューリップも高値から下がっているそうです。

フローラホーランド市場の2020年のオリエンタル OT の年間平均単価が約65セントでしたから、80セントは悪くはないものの、この2年間の切花単価高騰を受け、高値の球根を仕入れてきたオランダの切花生産者の過熱ぶりや、許容できる球根相場などがコロナ前の状態に多少落ち着いてくるかもしれません。

2022年オランダ産の状況につきましては、わかり次第追ってご報告申し上げます。

日本でも、ガソリンや重油の相場が一時的に高騰し、社会問題となっていますが、3月中旬現在、既に WTI 原油相場は 100 ドルを下回ってきており、今後、世界の景気拡大減速や、アメリカのシェールオイルの生産が増えると、更に下がる可能性もでてきています。

④6月のゆりの展示会 開催予定(2022年6月16. 17. 18日)

2020年、2021年は試験農場での現地開催を行わず、ネット・SNS上でのオンライン展示会や、全国の花市場にご協力いただきサンプル展示をさせていただきました。

2022年は3年ぶりに、ハウスにご来場いただける展示会を予定しております。

約500品種の試験を計画しており、情報展示(動画含む)や栽培見本など、様々な分野の方にも、百合について知っていただける企画もご用意して、皆様をお迎えしたいと考えております。

具体的なお案内ができる時期になりましたら、改めてご連絡させていただきます。社員一同、皆様と久々にお会いできますことを心から楽しみにしております。

よろしくお願い致します！

以上